

## 1. 評価結果概要表

作成日 平成20年 4月22日

## 【評価実施概要】

事業所番号	2973600147
法人名	株式会社シルバーケアコンサルタント
事業所名	さくらの里
所在地	奈良県吉野郡大淀町今木880 (電話) 0745 - 67 - 9110
評価機関名	奈良県国民健康保険団体連合会
所在地	奈良県橿原市大久保町302-1 奈良県市町村会館内
訪問調査日	平成20年4月10日

【情報提供票より】(20年3月1日事業所記入)

## (1) 組織概要

開設年月日	平成 18年 1月 1日
ユニット数	1 ユニット
利用定員数計	9 人
職員数	13人 常勤 2人, 非常勤 11人, 常勤換算 4人

## (2) 建物概要

建物構造	鉄 骨造り
	1 階建て 1 階 ~ 階部分

## (3) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	40,000 円	その他の経費(月額)	41,000 円	
敷 金	無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	300 円	昼食	500 円
	夕食	500 円	おやつ	円
	または1日当たり 円			

## (4) 利用者の概要(3月1日現在)

利用者人数	9名	男性	3名	女性	6名
要介護1	3名	要介護2	2名		
要介護3	3名	要介護4	1名		
要介護5	名				
年齢	平均 80歳	最低	73歳	最高	94歳

## (5) 協力医療機関

協力医療機関名	むらかみクリニック・町立大淀病院
---------	------------------

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

当ホームは、自然に恵まれた広い敷地に、瓦葺の平屋で新設・開所されました。玄関周辺には様々な樹木が植栽され訪問者を暖かく迎えてくれる雰囲気があります。ホーム内はゆっくり寛げる広さがあり、利用者は自分のペース・リズムで特技を活かしながら穏やかに生活されています。また、各所に自立支援への工夫が施され安全への配慮が見られます。職員は、運営理念を常に認識され利用者支援に努められています。

## 【重点項目への取り組み状況】

重点項目	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4)
	夜間の入浴支援のあり方は検討課題と考えます。また、行政や地域との関りに拡がりが見られ、ホームに対する理解・協力が進みつつあり、一層の働きかけを期待します。
重点項目	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4)
	自己評価の目的・意義を正しく認識され、全職員の参画の下に実施され、質の向上に活かす機会と捉えられています。
重点項目	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6)
	運営推進会議の設置目的等は正しく認識されて、会議のメンバーの委嘱準備がなされている段階ですが、早急に設置される事が望まれます。
重点項目	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8)
	事業所内に相談・苦情等の担当者を決め、家族の訪問時等に積極的に意見等を聞きだす取り組みがされ、開陳された意見等は記録すると共に職員会議で検討・検証し運営に反映させることとされています。
重点項目	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3)
	開所から2年、自治会への加入等により地域との関りに拡がりが見られますが、より積極的な関りを指向されており、取り組みを期待します。

## 2. 評価結果(詳細)

(  部分は重点項目です )

取り組みを期待したい項目

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印 )	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>. 理念に基づく運営</b>					
1. 理念と共有					
	1	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	利用者の意思及び人格の尊重と地域との交流を深め、安心できる馴染みの環境の中で、その人らしい自立した生活支援とする理念が作られています。		
	2	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	リビングの目に付きやすい場所に理念がさりげなく掲出されており、また、申し送り時に確認し合う等により理念を実践に活かす取り組みがなされています。		
2. 地域との支えあい					
	5	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	自治会への加入や隣接農家の方々との交流(干し柿・切り干し大根作り)等により地域社会との繋がりを大切にされています。また、地域の行事にも積極的参加を目指されています。		地域との関りを大切と考えておられますので、自治会活動や地域の各種行事等に積極的に参加されて行かれる事を期待します。このことにより、ホームや認知症に対する一層の理解・協力が広がるものと考えます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
	7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	評価の意義・目的を正しく認識され、外部評価の結果は職員に周知しサービスに活かす取り組みと共に、自己評価に際しては、全ての職員の参画の下に提供しているサービス上の課題や問題点の把握と質の向上・改善に取り組む機会と捉えられています。		
	8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議の設置目的や期待される機能に対して理解され、構成メンバーの委嘱準備を進めている段階にあります。		運営推進会議の設置目的等については理解されていますので、早急に設置される事が望まれます。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
6	9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	地域密着型サービスに制度改正された事を踏まえ、運営上の課題・問題点の相談や情報交換に行政との関りを大切にした取り組みが見られます。		
4. 理念を実践するための体制					
7	14	家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	家族の訪問がたびたびあり、その場を利用して暮らしの様子を写真等をみせながら報告する事とされています。また金銭の出納状況についても毎月報告されています。なお、健康状態に変化が見られる時には、その都度連絡・相談する事とされています。		
8	15	運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	相談・苦情担当者を決め、家族の訪問時に積極的に話し掛け、意見・要望等を聞きだしその内容をケース記録に記入すると共に職員会議で検討し運営に反映させる仕組みがあります。		
9	18	職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	馴染みの関係の維持は利用者の安定した生活を確保する上で欠かせない要因でもあり、事業所間の異動はしない事とされています。職員の退職時には、家族に報告する等により利用者のダメージ防止に配慮されています。		
5. 人材の育成と支援					
10	19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の資質の向上はサービスの質に繋がることを理解されていますが、職員のローテーションの都合で業務中での指導・助言に止まっていましたが、必要に応じて外部の研修会にも参加することが計画されています。		サービスの質の向上を図る上には、職員の資質の向上も不可欠ですので、実現への取り組みを期待します。
11	20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	介護関連事業者との交流がなされ、質の向上を目指した取り組みがなされています。		同業者との相互訪問等による交流から得る情報は、サービスや職員育成に効果がありますので、取り組まれる事を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>.安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	<p>馴染みながらのサービス利用</p> <p>本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐徐に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している</p>	利用は本人の納得が前提であることから、事前に家族と一緒にホーム見学が実施され、利用者の暮らしの状況やホーム内の雰囲気を実感してもらい安心して移行に努められています。		
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	五の心(感謝・奉仕・素直・謙虚・反省)を双方が心がけ、共に支えあう関係の中で生活されています。		
<b>.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	利用前の生活暦等や暮らしの中から一人ひとりの意向・希望等の把握に努め支援されています。		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	介護計画の作成にあたっては、身体面と生活面について家族の意見を参考に職員で話し合い、より良い生活に繋げるために工夫されています。		
16	37	<p>現状に即した介護計画の見直し</p> <p>介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している</p>	定期的な介護計画の見直しはなされていますが、体調等に変化が見られる時には、家族等関係者が話し合い随時の見直しがされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	( 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
3. 多機能性を活かした柔軟な支援					
17	39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	家族の状況に応じて、通院・買い物等柔軟な支援がなされています。		
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働					
18	43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	基本的には、家族の協力を得て本人の希望する医院で受診されています。なお、往診を希望されたり、特別希望されない利用者には、協力医療機関で受診されています。		
19	47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	看取りの実績があり、一人ひとりの状況に応じて関係者(家族・医師等)で相談し対応する事とされています。なお、契約時に終末期への有り方の説明がなされています。		終末期へは積極な姿勢があり、管理者は明確な方針を持っておられますが、職員に十分浸透する迄には至っていない様に感じられます。方針を明文化する等により、共有化に努められる事を期待します。
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
20	50	プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	利用者の生活暦を考慮し、また、個人の尊重を念頭に常に言動等には注意・心がけ支援されています。また、各種記録類は、決められた場所で管理・保管されています。		
21	52	日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	一日の基本的な生活の流れの設定がありますが、利用者の生活のリズムを優先した支援がなされています。		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
22	54	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事は楽しさを与えると共に自信や喜びを感じてもらえる事に着目され、利用者は、職員と調理や下・配膳等に協働され、食事を一緒にする等楽しい雰囲気作りに取り組まれています。また、献立には利用者の希望を取り入れる様な取り組みがあります。		
23	57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	入浴日や入浴時間帯が設定されローテーションにより支援されていますが、希望者には、毎日でも入浴支援できる体制はあります。ただ、夜間の入浴支援はなされていません。		現在は、夜間入浴の希望者が無いようですが、希望がある事を想定して、その体制整備の検討を期待します。
(3)その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	暮らしに満足・充実感を与えることを大切と考え、日々の生活の中で役割や出番作りに工夫されています。また、毎週開かれる近くの朝市に出掛ける等により気分転換の一助とされています。		
25	61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	閉じこもりによる弊害を良く認識され、周辺の散歩や外出(ドライブ・外食等)がなされ良好な周辺環境に努められています。		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	見守り重視の支援がなされ、玄関への施錠はなく、開放的な感じを受けます。		
27	71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	火災に備え、消火訓練・避難訓練の実施や緊急通報装置・火災報知機の整備がなされ安全対策への取り組みがなされています。		火災発生時は、利用者を迅速・安全に屋外に誘導することが大切でありますので、手薄になる夜間等は周辺住民の協力・応援は不可欠ですので、体制整備と合わせ震災を想定して緊急時の非常物品の備蓄についての検討を期待します。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事の摂取量や水分補給の状況は詳細に記録され、一人ひとりの状況に応じた支援がされています。また、栄養バランスについても、献立表により管理栄養士に相談されています。		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1)居心地のよい環境づくり					
29	81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	明るく広いダイニング、清掃の行き届いた廊下・浴室等の確保と共に、季節の花が各所に生けられ穏やかに過ごせる共用空間が整えられます。また、椅子やソファが適所に配置され思い思いに過ごせる場所も確保されています。		
30	83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	本人の使い慣れた調度品等の持ち込みがあり、安心して過ごせる場所となっています。		